

てしろもりの丘あおば

経営方針

安全で安心できる環境の提供と人権尊重の価値観を基本とした質の高いサービスを提供し、利用者一人ひとりが選択し決定した目標の実現に向けて支援を行います。

地域生活への移行が難しい障害児入所施設の児童や、様々な理由により地域生活が困難となった障がい者に対するセーフティネットの機能を担います。

小集団での支援を基本とし、個室空間と共有空間を備えた生活スペースを有効に活用して利用者へのサービスの充実を図るとともに、地域との関係構築を主軸に置いた施設運営を行っていきます。

■ てしろもりの丘あおば

[障害者支援施設（施設入所支援、生活介護、短期入所）、日中一時支援事業]

■ 相談支援事業所「らいふ」

[障害児相談支援、特定相談支援]

取り巻く環境

あおばにおいては、知的障がいの重い人たちが入所していますが、満床の状態は続き、短期入所の希望も増えており、利用ニーズは継続して高い状況です。利用者の日中活動の充実、意思決定支援に関する職員の支援力の向上とともに、虐待防止意識の一層の向上が必要となっています。

相談支援事業所「らいふ」は、利用契約者の増加とともに、一つの事業所の利用だけでなく複数事業所が連携協力することで地域生活を維持している利用者も増えており、より一層のソーシャルワーク機能が求められてきています。

令和7年度【事業の重点項目】

1 人権尊重と虐待防止の意識の徹底

人権尊重と虐待防止意識の一層の向上を図るため、研修の実施、グループワーク等を引き続き行うとともに、てしろもりの丘グループとしての「行動基準」を新たに作成します。

「意思決定支援」の取り組みなどを進めるなかで、「私たちの仕事は虐待をしなければよいのではなく積極的人権擁護」という意識を高めていきます。

2 安心安全なサービス提供と支援技術の向上

利用者の作業、余暇等の日中活動の充実に努めるとともに、アクシデントレポート等を活用し、転倒、他害等の防止に努めます。また、強度行動障がいにかかる「中核的人材養成研修修了者」の助言・指導を取り入れながら、障がい理解についての学習と利用者の特性把握に努め、視覚支援の活用など、より効果的な支援方法の構築と標準化を図ります。

各種マニュアル等が移転後のユニット、職員体制等に合致したものとなっているか等引き続き見直し、改定等を行い、安心安全なサービス提供に努めます。

3 地域ニーズに応じた事業の展開

短期入所・日中一時支援の利用契約を進め、施設入所支援と合わせ利用率の維持・向上と経

営の安定化を目指すとともに、地域におけるセーフティネット機能を担ってまいります。

相談支援事業所「らいふ」においては、ご本人やご家族がより安心して地域生活が送れるよう関係機関との情報の共有や連携を図ります。

4 地域住民との信頼関係の構築

昨年度から外部関係者、一般の方にも公開して実施した「てしろまつり」を引き続き実施するとともに、地域行事にも参加するよう努め、地域住民との相互理解を図ります。

保護者、関係機関、地域住民等の施設見学の希望には積極的に対応していきます。

5 労務管理の徹底と働きがいのある職場づくり

業務の見直しによる効率化と職員個々の業務の見える化及び連携強化を図り、時間外労働の削減を目指します。

5 S活動を習慣化させ、労務環境を整えるとともに、チーム支援の中で職員が仕事にやりがいを感じられるよう、「にこりほっと活動」を展開するなど、風通しのよい職場づくりを行います。

6 災害対策の強化

施設における防災設備の周知把握及びユニット構造に即した防災体制の構築を図ります。